

都 市 計 画 課

都 市 計 画 係
開 発 係

都 市 計 画 係

1. 都市計画の総合企画及び調査に関する事務

(1) 福生市土地利用現況調査委託

57年度調査し作成した土地利用現況図を計量し、東京都で行う解析作業のデータを作るための土地利用現況調査表を作成した。これは、用途地域の見直し並びに国土利用計画法による土地利用計画等に使用される。

ア 委託金額 460,000円

イ 委託期間 昭和58年6月23日～昭和58年8月15日

(2) 諸 調 査

関係各機関からの調査依頼 24件

2. 地域地区に関する事務

(1) 福生都市計画高度地区の計画変更

東京都市計画高度地区（各区決定）の計画書の変更に伴い、東京都全体での統一を図るため、高度地区の計画書を変更した。

昭和58年11月30日付け、福生市告示第59号による計画変更

(2) 地域地区証明及び相談

区 分	件 数
地 域 地 区 証 明	45件
都 市 施 設 関 係 証 明	45
相 談 件 数	約1,500

3. 開発指導に関する事務

(1) 福生市宅地開発等指導要綱に基づく審査関係

区 分		件 数
事業計画審査願受付件数		42件
内 訳	宅地開発関係	4
	中高層建築物関係	30
	その他の	8
宅地開発等審査会開催回数		14回
宅地開発等審査会審査件数		38件
同意協議成立件数		43
事前協議等相談件数		100

4. 優良宅地及び優良住宅に関する事務

(租税特別措置法に基づく認定事務)

(1) 優良宅地

区 分	件 数
認定申請受付件数	0件
認定件数	0
審査会開催回数	0回
相談件数	2件

(2) 優良住宅

区 分	件 数
認定申請受付件数	2件
認定件数	2
審査会開催回数	2回
相談件数	5件

5. 国土利用計画法に関する事務

(1) 届出、確認

区 分	件 数
届 出 経 由 事 務	2 件
相 談 件 数	8
確 認 経 由 事 務	2
相 談 件 数	3

(2) 遊休土地

遊休土地実態調査 1 回

(3) 国土利用計画策定に伴う説明会

会 議 出 席 2 回

6. 福生市都市計画審議会に関する事務

(1) 審議会委員委嘱

ア 昭和58年5月13日

田 村 市 郎	(市議会議員)
在 原 博	(")
木 村 徳 蔵	(")
堀 川 實	(")
関 米 吉	(")
加 藤 謹 之 助	(")
石 川 泰 一	(")
高 水 惣 八	(")
宮 沢 良 一	(")

イ 昭和58年9月1日(任期満了による再任)

山 下 光 一	(学識経験者)
田 村 福 一	(")
木 村 徳 蔵	(市議会議員)

宮 沢 良 一 (市議会議員)
 高 水 惣 八 (")
 田 村 市 郎 (")
 大 野 達 夫 (学識経験者)
 野 島 茂 雄 (")
 石 川 泰 一 (市議会議員)
 堀 川 實 (")
 関 米 吉 (")
 加 藤 謹 之 助 (")
 田 村 半 十 郎 (学識経験者)
 在 原 博 (市議会議員)
 野 口 泰 道 (学識経験者)
 古 谷 勇 (")
 木 内 孝 蔵 (関係行政機関の職員)
 清 水 信 夫 (")

(2) 審 議 会

ア 昭和58年6月22日 (第1回)

福生都市計画高度地区の変更について

立川市行政視察

(ア) 立川市助役から駅周辺の開発計画について説明を受ける。

(イ) 立川駅ビル「ウィル」視察

7. そ の 他

(1) 河 川 関 係

ア 多摩川河川行政連絡会

出席回数 4回

イ 多摩川改修促進協議会

昭和58年度、福生市長が会長に選任され幹事市となる。

(幹事市事業)

(ア) 大蔵省、建設省及び関東地方建設局に対し、陳情を行う。

a 昭和58年8月2日

多摩川改修事業に関する要望書の提出

b 昭和58年10月3日

台風5号、6号による多摩川災害復旧に関する要望書の提出

c 昭和58年12月22日

多摩川改修事業に関する要望書の提出

(イ) 関係区市町担当職員研修会の開催

昭和59年2月22日

野川浄化施設及び京浜工事事務所内諸施設の視察

(ウ) 総会(前年度幹事市による。)に出席

昭和58年5月20日

ウ 河川敷不法占拠対策連絡会

河川敷の不法占拠によって、計画されている新堤防の築造ができないという問題であるが、同時に、その関係者が廃品回収してきた産業廃棄物と思われるゴミを燃やし、煤煙、悪臭を放つことによる付近住民への被害問題でもある。

昭和50年8月21日に建設省京浜工事事務所、秋川市及び福生市が中心となって解決のための対策連絡会を組織し、以来10数回会議を開いてきたところであるが、生活権も絡み、強制撤去ができず今日に至ってしまった。

最近になって、代替地の希望が明確となり、その条件として、信頼回復を得るために野焼行為をやめさせている。

したがって今後は、この代替地の選定が当面の課題といえる。

会議出席 5回

(2) 道路関係

ア 多摩地域都市計画道路に関する協議会及び多摩地域都市計画道路に関する連絡会議

関係会議出席 5回

開 発 係

土地区画整理事業

1. 福生駅東口土地区画整理事業

(1) 事業の背景と目的

福生駅東口周辺は、戦後横田基地に関連して家屋の連たんが始まり、昭和26年12月の出改札業務開始や昭和38年3月の青梅線全面複線化と相まってスプロール化が進み、面的整備の急務が叫ばれた。

このようなことから、市（当時町）では事業化案をつくり、説明会等に約10年間を要し昭和49年度から事業を実施してきた。

この事業は、都市計画法に基づく市街化区域の整備の一環として、本地域並びに隣接地域の開発をも展望し、市街地開発事業としての土地区画整理事業を施行し、もって公共施設の整備、住居地、商業地の調和を図ることをねらいとした事業である。

この地区は住居、店舗が混在し、地区内の道路が少なく、また、広場もなく利用するには不便な状況であった。

以上の状況を踏まえて、地域の健全な発展を企画して計画的に開発整備を図ることを事業目的とした。

(2) 整備の概要

本事業は、市が施行者となり、実施機関は財団法人東京都新都市建設公社に委託する形で行われた。

地区面積は4.7ヘクタールで、昭和48年からスタートし、総事業費15億6,600万円で、ここに完成した。

この地区は、整理前公共施設はわずか8%（3,966㎡）程度であったが、整理後は公園を含め27%（12,683㎡）の公共施設が整備され、宅地の利用増進が図られた。

また、当地区は街路等の公共施設が整備されたと同時に福生駅東口を駅勢圏とした既成市街地と隣接した武蔵野台地の表玄関として、良好な住宅地、商業地として発展していくものと確信する。

ア 事業費（収入）

区 分	金 額
東京都交付金	1,006,775 千円
福生市負担金	559,225
計	1,566,000

イ 事業費（支出）

区 分	金 額
工 事 費	3 1 2,2 3 1 千円
補 償 費	8 0 4,4 3 1
借 入 金 利 子	7 0,7 8 1
調 査 設 計 ・ 事 務 費	3 7 8,5 5 7
計	1,5 6 6,0 0 0

ウ 完成した公共施設

種 別	名 称 番 号	形 状 寸 法		
		幅員 (m)	延長 (m)	面積 (m ²)
街 路	2・2・2（福羽街道線）	1 6	5 7.6 7	5 7 0.4 1
	2・2・6（富士見通り線）	2 5	3 1.5 4	8 9 6.2 6
	2・2・6（駅前広場）			4,0 0 0.3 2
	小 計		8 9.2 1	5,4 6 6.9 9
	区 画 街 路	8	2 2 5.6 0	1,8 9 3.6 8
	”	7	3 4.1 5	3 3 4.8 1
	”	6	3 1 6.1 1	1,9 9 1.9 7
	”	4	5 5 0.0 3	2,2 8 3.4 0
	小 計		1,1 2 5.8 9	6,5 0 3.8 6
	計		1,2 1 5.1 0	1 1,9 7 0.8 5
公 園	公 園	（ 東 町 公 園 ）		7 1 2.1 5
	計			7 1 2.1 5
合 計				1 2,6 8 3.0 0

エ 土地の種目別施行前後対照表

種 目			施 行 前			施 行 後	
			地積 (㎡)	割合 (%)	数	地積 (㎡)	割合 (%)
公 共 用 地	国 有 地	道 路	1,022.00	2.16	4		
		計	1,022.00	2.16	4		
地 所 方 公 有 地 共 団 体 地	地 所 方 公 有 地 共 団 体 地	道 路	2,944.65	6.22	23	11,970.85	25.30
		公 園				712.15	1.50
		計	2,944.65	6.22	23	12,683.00	26.80
合 計			3,966.65	8.38	27	12,683.00	26.80
		畑	8,645.00	18.27	24	34,635.06	73.20
宅 有 地	民 有 地	宅 地	26,306.09	55.59	122		
		公衆用道路	37.00	0.08	1		
		雑種地	1,518.00	3.21	6		
		計	36,506.09	77.15	153		
地	準 国 有 地	日本国有鉄道用地	458.05	0.97	5		
		計	458.05	0.97	5		
合 計			36,964.14	78.12	158	34,635.06	73.20
保 留 地						0	0
測 量 増			6,387.27	13.50			
総 計			47,318.06	100.00	185	47,318.06	100.00

(3) 事業の経過

昭和49年5月に福生駅東口土地区画整理事業として事業認可を受け、事業に着手し、昭和51年5月には、全地域の仮換地指定を行った。

以後、公共施設の整備と家屋の移転を重点的に事業を進め、最終的には、114棟という建物の移転を完了した。また、昭和56年3月には町名の東町（ひがしちょう）が議会で議決され、昭和58年11月に最終的換地計画の縦覧を行い、昭和59年3月中旬、登記も完了、当年度をもって事業が収束した。

ア 主な経過一覧表

昭和年月日	事 項
3 6. 7. 2 0	市は設立団体の一員として「財団法人東京都新都市建設公社」を設立し、市が施行する区画整理事業を公社に委託
3 7. 6. 3 0	市街地開発区域の指定
4 8. 6. 2 5	施行区域の決定
4 8. 1 2. 2 5	施行規定の議会議決
4 9. 4. 2 4 9. 4. 1 5	福生都市計画事業福生駅東口土地区画整理事業計画の縦覧
4 9. 5. 2 9	福生都市計画事業福生駅東口土地区画整理事業計画の決定公告（事業決定）
4 9. 5. 2 9	登記所への届出
4 9. 1 1. 1 2	審議会委員の選任日（第1期）
5 1. 3. 6	仮換地案の決定
5 1. 3. 2 3	第1回事業計画の変更
5 1. 5. 1 0	仮換地の指定（第1回）
5 3. 3. 3 0	第2回事業計画の変更
5 3. 1 1. 1 3	審議会委員の選任日（第2期）
5 6. 3. 2 6	町名の議会議決
5 7. 3. 1 7	第3回事業計画の変更
5 7. 1 1. 1 3	審議会委員の選任日（第3期）
5 8. 3. 2 6	第4回事業計画の変更
5 8. 1 1. 2	第5回事業計画の変更
5 8. 1 1. 1 7 5 8. 1 1. 2 6	換地計画の縦覧
5 9. 1. 1 7	換地計画の認可
5 9. 1. 1 8	換地処分のお知らせ

昭和年月日	事 項
5 9. 2. 2 9	換地処分の公告（事業完了）
5 9. 3. 2 1	竣功記念碑除幕式
5 9. 4. 2 7	竣功記念式典

(4) 諮問機関

この事業の公平を期すために、関係権利者の意見反映の機関として法律の定めにより、土地区画整理審議会が設けられた。審議会は権利者の利益保護と事業の公正円滑な運営のための諮問機関である。

また、土地の評価などを適正に行うために、審議会の同意を得て、学識経験者からなる評価員を選任し、土地評価に関する事項の諮問をお願いした。

ア 就任者名簿

(ア) 施行者

福生市 代表者 福生市長 石川常太郎（昭和55年5月20日まで）

福生市 代表者 福生市長 田村 匡雄（昭和59年2月29日まで）

(イ) 審議会委員

事 項	第 1 期	第 2 期	第 3. 期
	49.11.12～53.11.12	53.11.13～57.11.12	57.11.13～59. 2.29
会 長	塩 野 鉄 之 助	塩 野 鉄 之 助	塩 野 鉄 之 助
会長職務代理	谷 合 泰 作	谷 合 泰 作	谷 合 泰 作
委 員	阿 部 六 郎	川 井 秀 夫	川 井 秀 夫
”	須 釜 亮 次	須 釜 亮 次	須 釜 亮 次
”	村 野 真 一	細 渕 嘉 一	細 渕 嘉 一
”	岩田商事(有) 代表 岩 田 博	岩田商事(有) 代表 岩 田 博	岩田商事(有) 代表 岩 田 博 文
”	清 水 芳 太 郎	清 水 芳 太 郎	清 水 芳 太 郎
”	田 村 昌 一	田 村 昌 一	田 村 半 十 郎
”	中 西 虎 蔵	志 村 要 作	志 村 要 作
”	本 間 達 雄	本 間 達 雄	村 尾 昌 之

(ウ) 評価員

第 一 期	第 二 期	第 三 期
村 野 弘	村 野 弘	古 谷 勇
坂元 登（前任）	亀田 学（前任）	吉 沢 徹 夫
亀田 学（残任）	吉沢 徹夫（残任）	小 野 光 朗
島 田 猛	岩 崎 好 亮	

2. 多摩地域都市モノレール等建設促進協議会

多摩地域の都市モノレール等の建設促進を目的として、昭和57年度に設立された本協議会は、昨年度より陳情等活発な運動を展開し、本年度は、モノレール全予定路線約9.3Kmのうち、多摩センター～新青梅街道間約1.6Kmの区間の国庫補助事業としての新規採択を受け、事業調査に着手する運びとなった。

これに伴い、福生市もこの新交通システムの導入を図るべく、東京都知事に要望書を提出するなど積極的な働きかけを行った。

(1) 多摩地域都市モノレール等建設促進協議会構成員

福生市長 田 村 匡 雄
市議会議長 田 村 市 郎
建設委員長 加 藤 謹 之 助
建設部長 内 田 和 雄

（幹事 都市計画課長 関 口 清）

(2) 活動経過

昭和58年 5月31日 多摩地域都市モノレール等建設促進協議会第2回総会
(立川平安閣)

昭和58年11月10日 湘南モノレール江の島線視察

昭和58年12月 7日 東京都に対し多摩地域都市モノレール等の路線計画における支線ルートの要望書を提出